

家庭教育学級新聞

第33号 R1.9.25

発行 山武市教育委員会
生涯学習課



早寝、早起き、
しますか？
健康第一！



厳しい残暑が続きますが、2学期のリズムはできましたか。暑さ寒さも彼岸までといえます。そろそろ秋の気配が感じられるようになることでしょう。中学校では体育祭も終わり学習に集中できる時期です。こども園・幼稚園・小学校では運動会の真っ最中ですね。水分をこまめに摂って体調管理に気をつけましょう。芸術の秋、スポーツの秋。秋は何をやるにも良い時期です。ぜひ実りの多い学期になりますように。

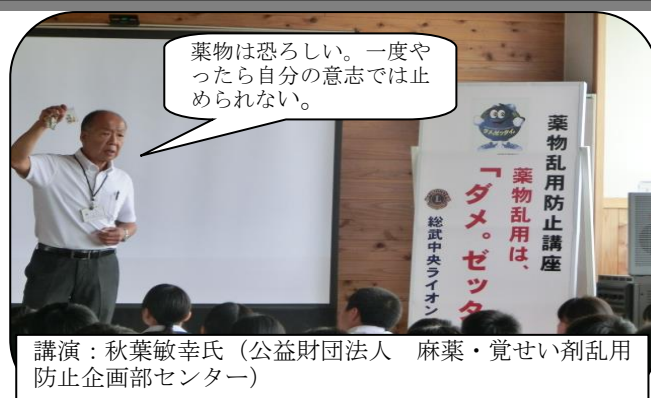
家庭教育学級から

- ① 薬物に関する正しい知識をもつことが大切。
薬物は心も体もメチャクチャにする。一度壊れた脳は、もとにはもどらない。
- ② 薬物の害：脳が破壊されたために、人に危害を与える。薬物欲しさに犯罪を犯す。
- ③ 他人からの悪い誘いをきっぱり断る勇気をもつ。親しい友人から誘いがあってもきっぱり断る。そんなことで失うような友情であれば、それは本当の友達といえない。悪い誘いは、きっぱりと『NO!』と言う。

薬物乱用防止教室

成東東中学校 7月11日

主催：総武中央ライオンズクラブ



講演：秋葉敏幸氏（公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止企画部センター）

※覚せい剤をどこで覚えたかは、「友人に誘われて」が最も多い。

※覚せい剤を初めて使用した年齢別では、18歳と17歳が最も多く（28.3%）、次いで、16歳（19.9%）の順となっている。

【千葉県警察調査】より

キャラバンカーの中で様々な体験をしました。



※薬物所持で逮捕されるニュースが多く聞かれます。子どもの時から薬物に対する正しい理解が必要です。

お知らせ

「親業訓練入門講座」が、11月13日（水）、20日（水）9:30～12:30 開催されます。詳しくはチラシをご覧ください。お申し込みは生涯学習課まで。

（問）生涯学習課 0475-80-1456

キャラバンカーには、薬物乱用が心や身体に与える危害の解説や写真のパネル、乱用されている薬物の標本、薬物乱用の危害を解説する映像の他に、薬物乱用に関してクイズ形式で楽しく学習できるシステムが搭載されています。子供から大人まで、薬物乱用の恐ろしさを体感的に学習できるようになっています。

いじめをうけたら？
知らない人に連れて
いかれそうになったら？

子どもを暴力から守る

Child Assault Prevention

子どもへの 暴力 防止

知っている人に嫌な
触り方されたら？

「CAPプログラム」について～

CAPとは、子どもが様々な暴力（いじめ・誘拐・性暴力など）から自分を守るための人権教育プログラムです。

<今、なぜ、CAPか！>

子どもへの虐待のニュースが後を絶ちません。幼い子どもが誰にも助けを求めることもできず、命を落としてしまう・・・こんな悲しいことはありません。子どもを守るためには、子ども自身が「安心」「自信」「自由」の権利をもっていることを知らせ、自分で自分を守るという意味をもつことが大切です。当然、子どもだけではどうしようもないこともあります。そこで、子どもCAPのワークショップ（参加型学習会）だけではなく、大人CAPのワークショップで、どうやって子どもにかかわっていったらよいのかを学びます。

<就学前子どもCAPでは・・・>



人形を扱う
「ENJOY CAP」の
寺田いつ子さん（左）



就学前のお子さんでもわかるように寸劇や人形劇でその場面を想像し、ロールプレイング（役割劇）をして、その時々にあった対処の仕方を学びます。大切なことは何度も繰り返して声に出して覚えます。1日50分のプログラムを3日行います。（小学生・中学生は別のプログラムです。）

<大人CAPでは・・・>

子どもに行ったプログラムの紹介と、子どもをサポートするために大人のできることを考えます。大人CAPは、幼稚園・こども園は全園、小学校では一部の学校で、家庭教育学級として行われています。この機会にぜひ、参加していただきたい学級です。託児もあります。（園に直接お申込みください。）

※CAPについては、8月28日付け朝日新聞の「こどものSOS見逃さないで」（浦安市の公民館主催の講演会）の記事としても載っています。



安心・自信・自由について説明する
「ENJOY CAP」の滝川律子さん

しらはたこども園大人CAP



子どもの権利を守るために、親は何かができるか。危険を感じたら、特別な叫び声をあげる練習もしました。保護者のみなさんからたくさんの質問が出て、大変盛り上がりしました。

（7/16 しらはたこども園にて）

